

西洋なし有望品種の受粉親和性

(園試・果樹部)

1. 背景とねらい

県内の西洋なしの栽培面積は94ha(昭和58年現在)あり、品種は、パートレットが主体で、他にフレミッシュ、ラ・フランス等が栽培されている。パートレットの用途は、大部分が加工向けとなっている。

最近、し好の多様化から、生食用の西洋なしの需要が高まっており、ラ・フランスやル・ルクチェ等の品種が京浜地方では高値で取り引きされている。西洋なしの主産地である山形県や新潟県では、これらの品種への更新が進められており、本県においてもラ・フランスへの高接ぎ更新や、一部地域では新植も検討されてきている。

一方、ラ・フランス、ル・ルクチェ等最近の品種の受粉親和性は検討されたものが無いのが現状である。そこで、有望品種と思われるラ・フランス、ル・ルクチェ、シルバーベルについて、その受粉親和性を検討した。

2. 技術の内容

- 1) ラ・フランス、ル・ルクチェ、シルバーベルは、何れも相互の受粉親和性が高く、受粉樹として利用できる。
- 2) ル・ルクチェは単為結果性、自家結実性がともになく、受粉樹が必要である。
- 3) ラ・フランスおよびシルバーベルは単為結果性があり、単植でも結実するが、果実は小玉となり商品性が劣るので、受粉樹を用いる。
- 4) 適応地域 県下全域

3. 指導上の留意点

- 1) 開花期は、ラ・フランスが1~2日早い、受粉には支障がない程度の差である。

4. 参考文献、資料

- 1) 果樹全書 ナシ(農文協編)
- 2) 果樹園芸総論 養賢堂

5. 試験成績の概要

表 - 1 各組合わせでの結実率、種子数、果重

品 種	調 査 項 目	交 配 品 種			
		ラ・フランス	シルハ TM -ヘル	ル・ルクチェ	雄 芯 除 去 無 受 粉
ラ・フランス	交 配 花 数 (花)	80	58	82	64
	結 実 率 (%)	88.8	93.1	96.3	92.2
	完 全 種 子 数 (個 / 果)	0	8.3	9.0	0
	一 果 重 (g)	175.6	217.4	202.2	187.9
シルハ TM -ヘル	交 配 花 数 (花)	68	34	62	66
	結 実 率 (%)	73.5	70.6	87.1	74.2
	完 全 種 子 数 (個 / 果)	7.3	0	7.5	0
	一 果 重 (g)	267.4	108.1	256.1	140.3
ル・ルクチェ	交 配 花 数 (花)	82	70	72	46
	結 実 率 (%)	53.7	40.0	0	0
	完 全 種 子 数 (個 / 果)	5.9	2.0		
	一 果 重 (g)	251.7	214.8		

注) 1 花そう 2 花に摘らいした後に処理した。

表 - 2 開花期

品 種	開 花 始		開 花 盛		開 花 終	
	平 年	60 年	平 年	60 年	平 年	60 年
ラ・フランス	5/6	5/2	5/8	5/4	5/12	5/7
ル・ルクチェ	5/7	5/3	5/10	5/7	5/14	5/9
シルハ TM -ヘル	—	5/4	—	5/6	—	5/8